

迷惑メール対策委員会の 活動報告と取り組みのご紹介

2016年11月24日

一般財団法人インターネット協会

一般財団法人インターネット協会

- 名称： 一般財団法人インターネット協会 (IAJapan : Internet Association Japan)
- 設立： 平成13年(2001年)7月1日
- 目的： 「インターネット上に未来社会を築く」
インターネットの発展を推進することにより、高度情報化社会の形成を図り、我が国の経済社会の発展と国民生活の向上に資することを目的とします。
- 主な活動：
 - ・ インターネット最新技術および最新動向に関する各種セミナー開催
 - ・ 各種委員会活動 (IPv6ディプロイメント、国際活動、迷惑メール対策、 IoT推進、中欧交流)
 - ・ インターネットルール&マナー検定の実施およびインターネット利用アドバイザーの育成 ・ インターネット動向調査
 - ・ フィルタリングの普及啓発
 - ・ インターネットホットライン連絡協議会の事務局業務
 - ・ フィルタリング連絡協議会の事務局業務
 - ・ 東京こどもネット・ケータイヘルプデスクの運営
 - ・ ISOC, ICANN, APIAなどの国際組織との協働および 国際連携など

■これまでの経緯：

- 平成 3年 3月 ネットワーク協議会（JNA）設立
- 平成 4年10月 電子ネットワーク協議会（ENC）発足
- 平成 5年12月 日本インターネット協会（IAJ）設立
- 平成 8年 9月 Javaカンファレンス（Java-Conf）設立
- 平成12年 6月 ネットワーク協議会（JNA）とJavaカンファレンス（Java-Conf）が
日本インターネット協会（IAJ）に移行し、合併
- 平成12年 8月 「新法人設立準備会」で検討開始
- 平成12年10月 「新法人設立検討委員会」「事業検討WG」「事務局連絡会」で本格的に検討開始
- 平成13年 3月 インターネット協会（IAjapan）設立
- 平成13年 4月 日本インターネット協会(IAJ)と電子ネットワーク協議会（ENC）が
インターネット協会（IAjapan）へ移行
- 平成13年 7月 財団法人インターネット協会設立
- 平成25年 4月 一般財団法人に移行



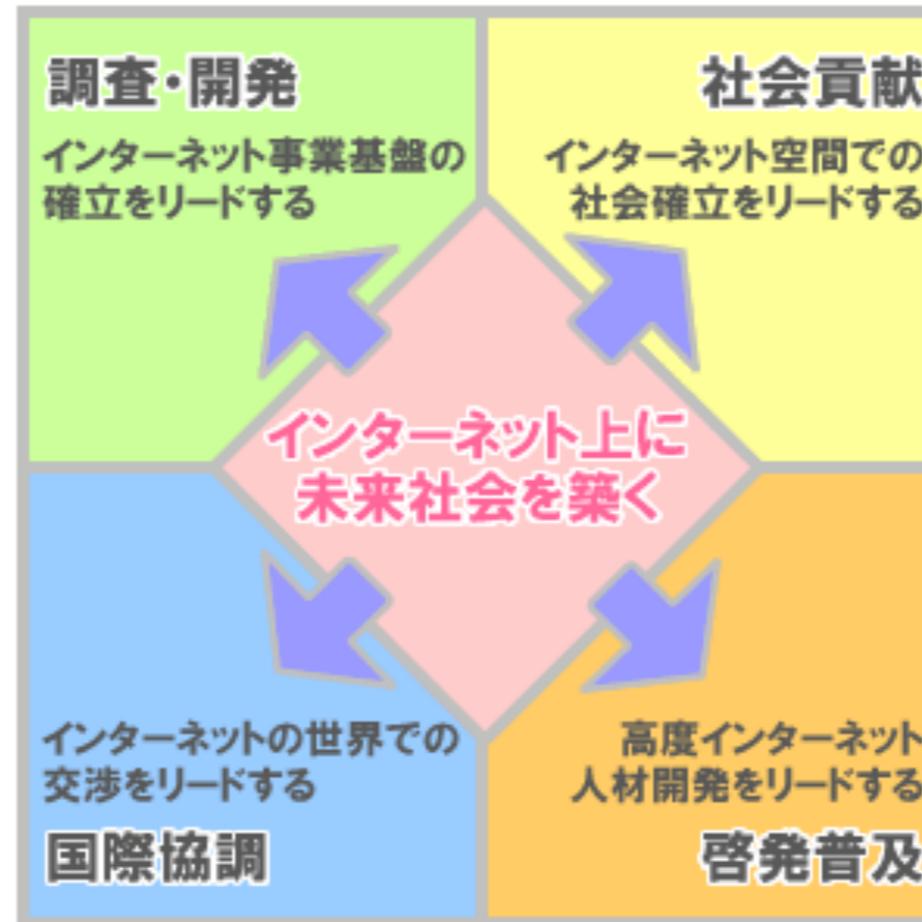
■事業内容：

調査・開発

- 関連技術の調査研究
- 関連技術の開発と実証
- 関連技術の標準化の推進
- インターネットにおける危機管理のあり方についての調査研究
- インターネット動向調査
- 新ビジネスの動向調査、可能性検討

国際協調

- ISOC, ICANN, APIA等の国際団体への参画及び連携、カンファレンス、イベント等の開催
- ISTFへの貢献、デジタルディバイド問題の調査
- インターネットビジネスに係る国際ルール整備への対応（サイバー条約等）
- 海外実態調査、視察等



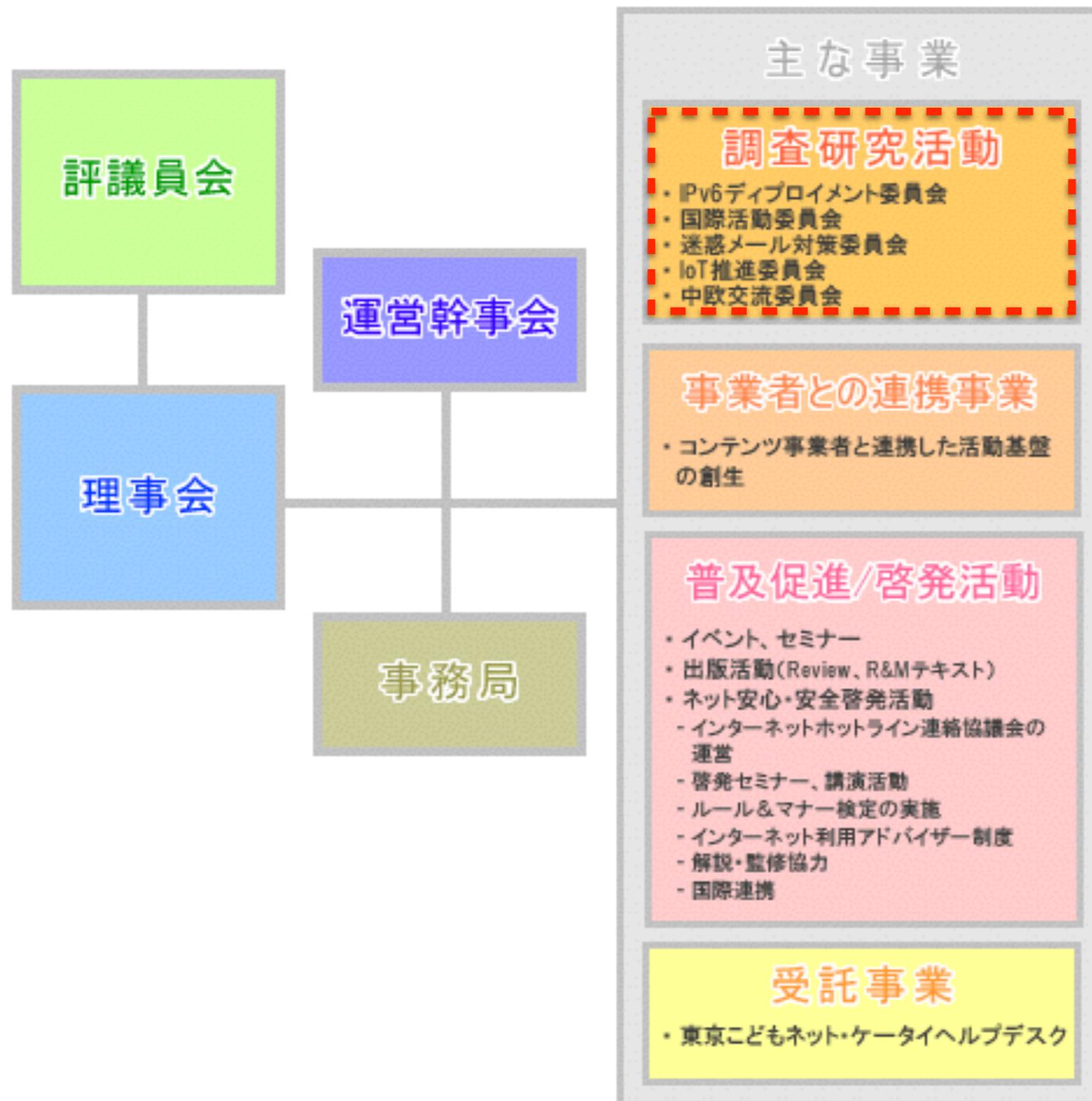
社会貢献

- 社会貢献
- インターネットホットライン連絡協議会への参画と主導
- ハイテク犯罪に対する政府・産業界の取り組みへの協力
- インターネット上の知的財産権(著作権、特許権等)に関する検討
- フィルタリングソフトウェアの普及
- インターネットに係る諸課題の解決に向けた政策提言

啓発普及

- システム運用者やトレーナー等の人材育成
- 教育学習システム、教材等の研究開発
- 啓発普及事業の展開（技術者認定検定、表彰制度等）
- ビジネスマン向けルールとマナーの作成と普及
- ルール&マナーポータルサイトの構築と運用

■組織図：



一般財団法人インターネット協会
インターネット ルール & マナー 検定



迷惑メール対策委員会

■活動内容：

- ・ 委員を中心として迷惑メール対策に有効な送信ドメイン認証技術などの普及状況の調査
- ・ カンファレンスを開催し幅広く送信ドメイン認証技術、ベストプラクティス、最新動向に関する情報を発信
参加者との意見交換、議論を通して課題を認識し解決策を検討
- ・ ポータルサイトの充実を図る（調査結果、技術規格の英日訳、ベストプラクティスなどの掲載）
- ・ 新しいメール関連技術の検証（フィードバックループ、ドメインレピュテーション、送信ドメイン認証結果の表示方法）

■会合記録：

2015年11月6日

2015年12月18日

2016年2月5日

2016年3月9日

2016年4月15日

2016年5月20日

2016年7月1日

2016年7月29日

2016年9月16日

2016年10月4日 第14回迷惑メール対策カンファレンス(大阪)

2016年10月5日 第15回迷惑メール対策カンファレンス(東京)

2016年11月11日

委員：25名 事務局：4名
(2016年9月23日時点)

迷惑メール対策カンファレンス（第14回、第15回）

■開催概要：

Security Days 2016、Email Security Conference 2016 のイベントと共催

| | | |
|------------|-----------------------------|-----------------------|
| 2016年10月4日 | ナレッジキャピタルカンファレンス(グランフロント大阪) | 1,549名参加（前回比：-48名） |
| 2016年10月5日 | JPタワーホール&カンファレンス (KITTE) | 4,220名参加（前回比：+1,239名） |

■プログラム：

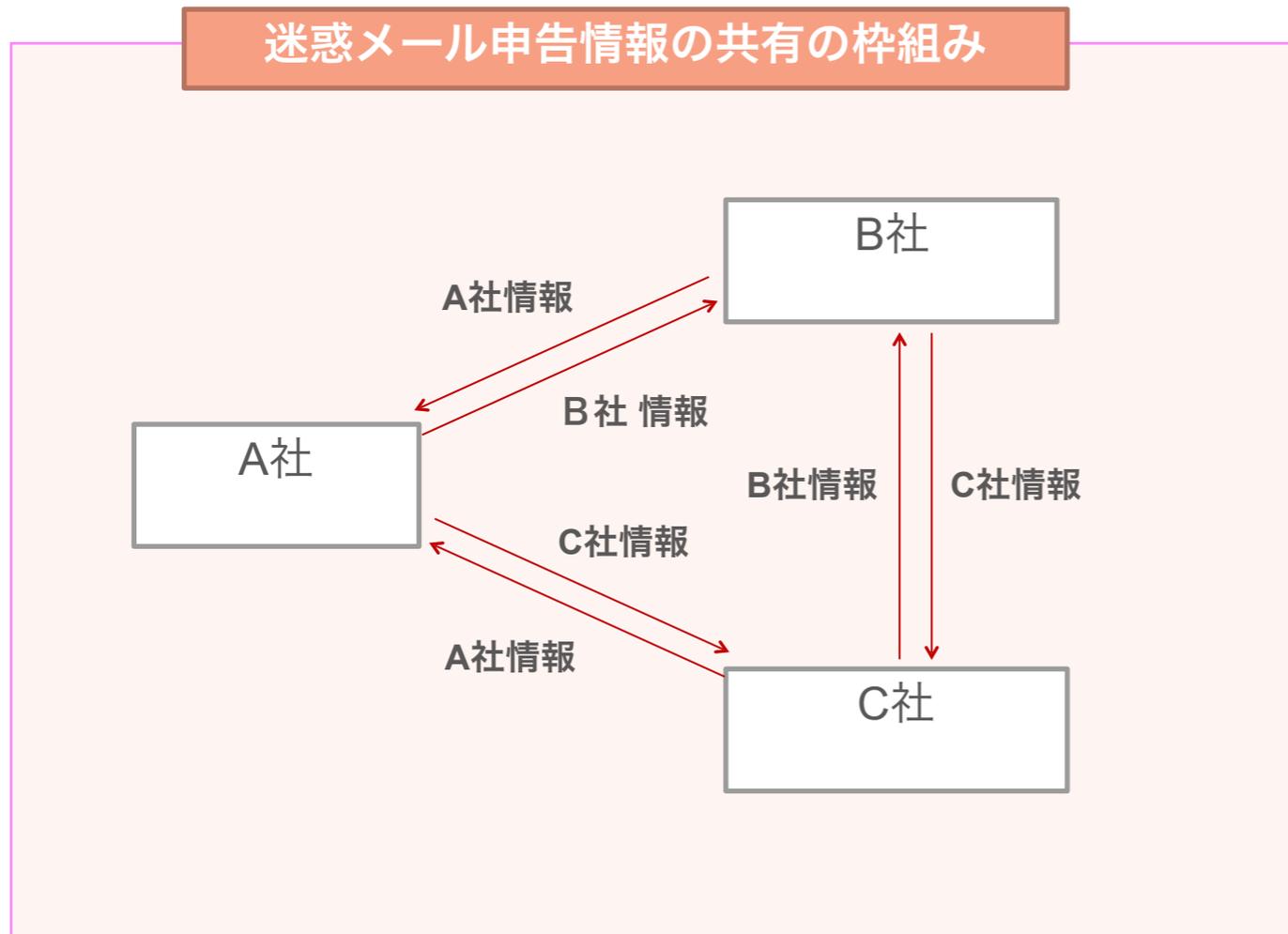
- ・ 高度サイバー攻撃への備えと対応
- ・ お客様からのスパム発信をいかに防ぐか
～クラウド・ホスティング事業者の取り組み～
- ・ ISPが取り組む迷惑メール送信対策の紹介
～続・ Submission 踏み台問題～
- ・ なりすましの手口とその正しい対策
～DKIM第三者認証問題とDMARCの普及に向けて～
- ・ DMARCによる新しいメール認証と導入の留意点
- ・ ケータイ キャリア 3 社の迷惑メール対策と
会社の垣根を越えた連携



(参考) TCAでの取り組み

携帯事業者3社の連携による迷惑メール申告情報の共有

携帯事業者発迷惑メール（SMSおよびEメール）の申告情報を共有し、各個社のサービス契約約款にもとづき利用停止等の措置を講じ、迷惑メールの流通を防止することを目的とする。



http://www.tca.or.jp/press_release/2016/0907_755.html